

《2020年度 第3回試験 算数》解答例

- 【1】 ①  $8\frac{3}{8}$   
② 13  
③ 600 円  
④ 22 年後  
⑤ 172

- ⑥ 時速 37.5 km  
⑦ 150 ページ  
⑧ 131.88  $\text{cm}^3$   
⑨ 3  $\text{cm}^2$   
⑩ 74

<各 6 点×10=60 点>

- 【2】 ① (式)  $100 \times 0.05 = 5$      $200 \times 0.02 = 4$   
 $(5 + 4) \div (100 + 200) \times 100$

$$= \frac{9}{300} \times 100 = 3 \quad (\text{答え}) \quad 3 \% \quad <5 \text{ 点}>$$

- ② 75 g    <5 点>

- 【3】 ① (式)  $480 \div 40 = 12$     (答え) 午前 10 時 12 分 <4 点>

- ② (式)  $1200 - 480 = 720$

$$720 \div (40 \times 1.5) = 720 \times \frac{1}{60} = 12$$

$$28 - (12 + 12) = 4 \quad (\text{答え}) \quad 4 \text{ 分間} \quad <6 \text{ 点}>$$

- 【4】 ① (式)  $15 - 4 \times 3 = 15 - 12 = 3$     (答え) 3 個 <3 点>

- ② (答え) 3 通り <3 点>

- ③ (答え) 10 通り <4 点>

- 【5】 ① (答え) 30 分 <2 点>

- ② (答え) 3 分 <3 点>

- ③ (答え) 27 分

(理由) 条件から、b 分+c 分は 27 分か 26 分。b 分と c 分の差が奇数なので、b 分と c 分は偶数と奇数のように異なる種類の数となる。よって、b 分と c 分の和は奇数となり、27 分である。